

# 科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	英語コミュニケーション					学期	曜日	校時
英語名	English Communication							
担当 教官名	小笠原 真司	単位数	1 単位	必修 選択	必修	後期	水曜日	校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>聞く練習を中心に、さらに話す練習を行います。また、話す練習との兼ね合いで、書く活動も加えて、自分の意見を発信する練習を行います。</p> <p>テキストを利用して、まず聞き取る練習、リスニングをたくさん行います。テキストは平易な英語なので、英語の音声に早く慣れることができます。次にテキストに出てきた基本的な例文を、話す練習の基礎訓練として、リピーティングやシャドウイングというテクニックを用いて、たくさん練習します。このことによって、英語のリズムに慣れるとともに、たくさん話せる英文を身につけることができます。</p> <p>さらに、応用練習として、ペアで、あるいは、みんなの前で、まとめた内容を英語で話す練習、スピーキングを行います。ペアワークは毎時間行う大切な活動です。そのために、3回程度、英語の原稿を書いてもらう予定です。できる範囲で、書く活動、ライティングに関しても指導を行います。また、相手の言う英文の内容を、まとめたり、質問したりする練習もペアワークで行います。決して、受身的な態度で授業に参加しないでください。また、ポップミュージック等を利用して、リズム、発音等の音声英語の指導も行います。</p> <p>授業の効果を高めるためにも学生は、極力欠席をさげ、積極的に授業に参加してください。英語力をつけるため、毎回、課題も出しますので、家庭学習もきちんとして行うことを要求します。がんばって英語の力をつけてください。必ず1回目の授業から参加してください。授業に対する学生の積極的な取り組みを期待します。なお、授業に関する質問や英語に関する相談は、授業終了後あるいは、研究室のオフィスアワー（小笠原の研究室の前に掲示しております）の時間帯にお願いします。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
<p>教科書は、1回目の授業のとき紹介し、教室で販売します。また、必要に応じてプリント教材を使用します。 使用教科書 Cousin William II (Seibido ¥1800)</p>								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
L f	定期試験の結果を 70%、小テストや授業中のアクティビティの結果を 30%とし、総合的に評価します。							
授 業 計 画								
第 1 回	オリエンテーション	ポップ	ソング	(7)				
第 2 回	Unit 11	ポップ	ソング	(7)				
第 3 回	Unit 12	ポップ	ソング	(8)				
第 4 回	Unit 13	ポップ	ソング	(8)				
第 5 回	Unit 14	ポップ	ソング	(9)				
第 6 回	Unit 15	ポップ	ソング	(9)				
第 7 回	Unit 16	ポップ	ソング	(10)				
第 8 回	Unit 17	ポップ	ソング	(10)				
第 9 回	Unit 18	ポップ	ソング	(11)				
第 10 回	Unit 19	ポップ	ソング	(11)				
第 11 回	Unit 20	ポップ	ソング	(12)				
第 12 回	プリント教材	ポップ	ソング	(12)				
第 13 回	プリント教材	ポップ	ソング	(13)				
第 14 回	プリント教材	ポップ	ソング	(13)				
第 15 回	定期試験							